



旗振支部特別企画 令和四年 1月15日

灘五郷酒蔵巡り（神戸編）

旗振支部 林 洋治

まだまだ正月気分の冷めやらぬ15日、見出しの酒蔵巡りを行った。我が国いや世界に誇る酒づくりの伝統技術・施設を見学。今回は西郷～御影郷～魚崎郷を巡る。9時半、阪神大石駅に集合、この日の行程説明等を行った後、最初の見学地、沢の鶴資料館へ。散歩道に丁度良い都賀川河



川敷を下る。開館の10時までに少し時間がありひとまず記念撮影。事前にこ



館長さんが館内を微に入り細に入り説明していただいた。我が会員も酒造り入門するのではないと思われるほど熱心に聴講。時間も押し

の日一番目の予約していたこともあり、まず酒造り工程をビデオ学習。その後も



迫って私は気が気ではなかった。やっと試飲コーナーへ。さすがに美味しい酒。まずはゴクリ、ゴクリ。ここだけで終われないので次へと。

震災でこの辺りは大打撃を受け、酒蔵もほとんど再整備。この酒蔵の道（西国浜街道）もそれなりの景観を残すように再整備されている。



次に向かったのが東明の乙女塚古墳。伝説には二人の壮士が乙女に求婚し、



困った乙女が自殺したという悲恋もの。古代史にも登場し、いろいろな伝説が生まれたそう

な！真相は？ 3、4世紀の古代豪族の古墳らしいが説明書きも何かそっけない。この後神戸酒心館（福寿）を巡り、石屋川の河川敷公園で昼食、小休止。

次の白鶴酒造資料館への道すがら御影豆腐庵を発見。手作り豆腐で有名。早速、購入し、お土産に。街の



ぶらぶら歩きはこんなで出会いがあり楽しい。

白鶴酒造資料館もよく資料が展示されて、この蔵独自の秘められた製法・技



術があるのだろうが、だんだん試飲と買い物ツアーの様相を呈してきた。リュックは大きく膨らみ瞼は重たく。

最後に訪れたのは菊正宗酒造記念館。最初参加人員23名だったのが、最後までたどり着いたのは18名ほど。どこかで酔いつぶれたか？



いやいや所用があり途中帰られたとのよし。街中のウォーキングはこんな自由があるから良い。今回の例会で学んだこと、宮水、丹波杜氏、樽廻船・菱垣廻船。それに「くだらない」の語源は、不味い、出来の悪い酒は江戸へは下らないことから生まれたよし。

最後に、今回が参加した皆さんに好評を得たのは、試飲や珍しいお土産ができたせいだけでは思いたくないのだが！！企画良かったよ！との声に喜。